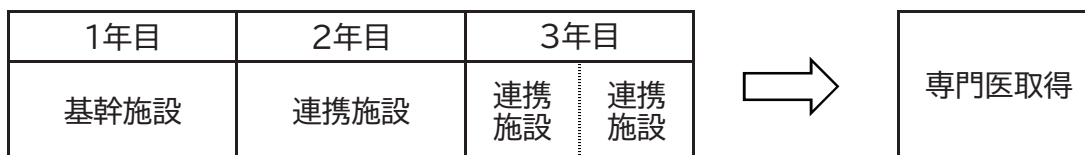


鳥取の総合診療専門医を育てるプログラム

1 プログラム概要

- (1) 鳥取大学医学部附属病院を基幹施設として、山陰両県の関連病院を連携施設とするプログラム。
- (2) 研修期間は原則3年間。
- (3) 総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行う。
- (4) 専門研修Ⅰ・Ⅱが各6か月以上で合計18か月以上、領域別研修は内科12か月、小児科及び救急科が各3か月の研修を行う。

2 研修モデルコース例



3 基幹施設・連携施設

	施設名称
基幹施設	鳥取大学医学部附属病院
連携施設	鳥取県立中央病院
連携施設	鳥取生協病院
連携施設	岩美病院
連携施設	智頭病院
連携施設	鳥取市立病院
連携施設	鳥取県立厚生病院
連携施設	米子医療センター
連携施設	山陰労災病院
連携施設	日野病院
連携施設	日南病院
連携施設	西伯病院
連携施設	鳥取生協病院・わかさ生協診療所
連携施設	藤井政雄記念病院
連携施設	江尾診療所
連携施設	大山診療所
連携施設	公立豊岡病院
連携施設	島根県立中央病院
連携施設	松江市立病院

鳥取県知事が指定する病院等

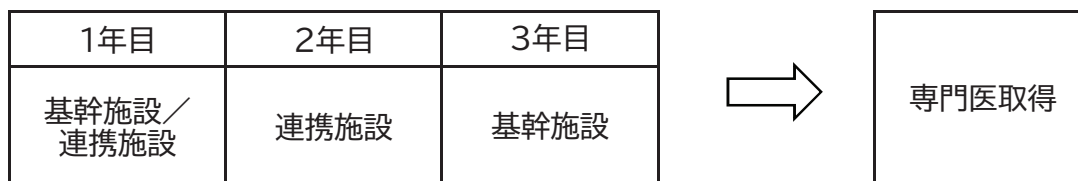
自治医大卒・特別養成卒医師の勤務先医療機関については、制度別キャリア形成プログラムをご覧ください。

鳥取生協病院総合診療専門研修プログラム

1 プログラム概要

- | |
|--|
| (1) 鳥取生協病院を基幹施設として、山陰両県の関連病院・診療所を連携施設とするプログラム。 |
| (2) 研修期間は原則3年間。 |
| (3) 総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科で3年間の研修を行う。 |
| (4) 専門研修Ⅰ・Ⅱが各6か月以上で合計18か月以上、内科研修12か月以上、小児科及び救急科が各3か月以上の研修を行う。 |

2 研修モデルコース例



3 基幹施設・連携施設

	施設名称
基幹施設	鳥取生協病院
連携施設	わかさ生協診療所
連携施設	すえひろ生協診療所
連携施設	せいきょう子どもクリニック
連携施設	鹿野温泉病院
連携施設	鳥取県立中央病院
連携施設	鳥取市立病院
連携施設	弓ヶ浜診療所
連携施設	松江生協病院
連携施設	出雲市民病院
連携施設	大曲診療所

鳥取県知事が指定する病院

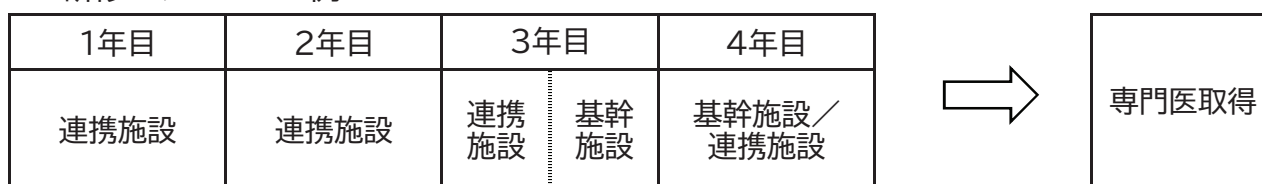
自治医大卒・特別養成卒医師の勤務先医療機関については、制度別キャリア形成プログラムをご覧ください。

CFMD家庭医療/総合診療レジデンシー・山陰

1 プログラム概要

- | |
|--|
| (1) 弓ヶ浜診療所を基幹施設として、山陰両県の関連病院・診療所を連携施設とするプログラム。
(2) 研修期間は4年間。
(3) 総合診療専門研修Ⅰ、Ⅱならびに領域別研修として内科、小児科、救急科の研修が必須。
(4) 1～2年目は、診療所でのハーフデイバック/ワンデイバックを行い、継続した外来診療/訪問診療を実施(外部研修中も続行)。
(5) 総合診療専門研修期間中に専攻医のニーズに合わせ選択ブロック研修や週1-2単位の研修を組み込むことも可能。 |
|--|

2 研修モデルコース例



3 基幹施設・連携施設

	施設名称
基幹施設	弓ヶ浜診療所
連携施設	鳥取県立中央病院
連携施設	鳥取市立病院
連携施設	せいきょう子どもクリニック
連携施設	鳥取生協病院
連携施設	出雲市民病院
連携施設	大曲診療所
連携施設	斐川生協病院
連携施設	松江生協病院

鳥取県知事が指定する病院

自治医大卒・特別養成卒医師の勤務先医療機関については、制度別キャリア形成プログラムをご覧ください。